

舟入高校第2学年進路だより No.2

「闘いは長いマラソン。走り続けないと駄目です。」

新型コロナウイルスへの対策について、山中伸也教授はそう語っていた。先が見通せない現状で、私たちは進み続けなければならない。

受験も長いマラソンだ。体力、計画性、そしてなによりもゴールに対する情熱がなければ、最後まで走り切れない。みんなの第1志望大学はそれに値するほど真剣に悩んで決めたゴールだろうか？

先日の進路志望調査の結果はきれいに3分の1ずつに割れた。

Q：第1志望の大学への現在の気持ちとして最も近いものは？

1. 強く希望 2. 第2志望でもかまわない 3. 定まっていない

(101人)

(104人)

(110人)

登校できない今だからこそ自分の進路についてしっかり調べよう。今、目を向けているもので、人生が変わるかもしれない。進路指導室の英訳にある Career は、生涯の職業や専門分野での活動を通じた人間としての成長を意味する。大学合格はゴールであると同時に人生の一つの通過点だ。その先も見据えて、できることをやっとう。自分のために、真剣に頑張ってもらいたい。次のページで紹介する3つのサイトが、大学の情報収集を手助けしてくれるだろう。



① THE 世界大学ランキング 日本版

これは、イギリスの教育専門誌 Times Higher Education が、「研究力」「教育力」「社会貢献度」の観点から作成した大学ランキングである。在学生の意見も反映されているところが特徴である。なかでも【大学事例】ページにある各大学の特色に関する記事は、シンプルにまとめてあり、大学について分かりやすい構成だ。

<https://japanuniversityrankings.jp/rankings/>

② QS 世界大学就職ランキング 2020

イギリスの世界大学評価機関の Quacquarelli Symonds (クアアレリ・シモンズ) が作成した、**就職に有利**な大学ランキングである。「外国人教員比率」

「教員数と学生数の比率」「学術評判」「雇用者評判」「教員 1 人当たりの被引用数」「留学生比率」から評価した大学ランキングも載っている。日本の大学が世界から見たときどこに位置するのかが分かる。通常ランキングと就職ランキングを比較すると、順位が変わるところも興味深い。

通常：<https://www.topuniversities.com/university-rankings/world-university-rankings/2020>

就職：<https://www.topuniversities.com/university-rankings/employability-rankings/2020>

③ 高校生新聞 ONLINE

高校生の活躍や、大学に関するニュースを見ることができる。ある記事で、司法試験合格率ランキングが取り上げられていた。合格者数を見ると、1位は慶應義塾大学だが、合格率が高いのは、京都大学や一橋大学である。情報収集をするうえでデータを正しく読み解くことも大切だ。

<https://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/5636>

Everything comes to him who hustles while he waits.

by Thomas Edison

